

蟹江町歴史民俗資料館

# 年報

第 36 冊

平成 28 年 3 月

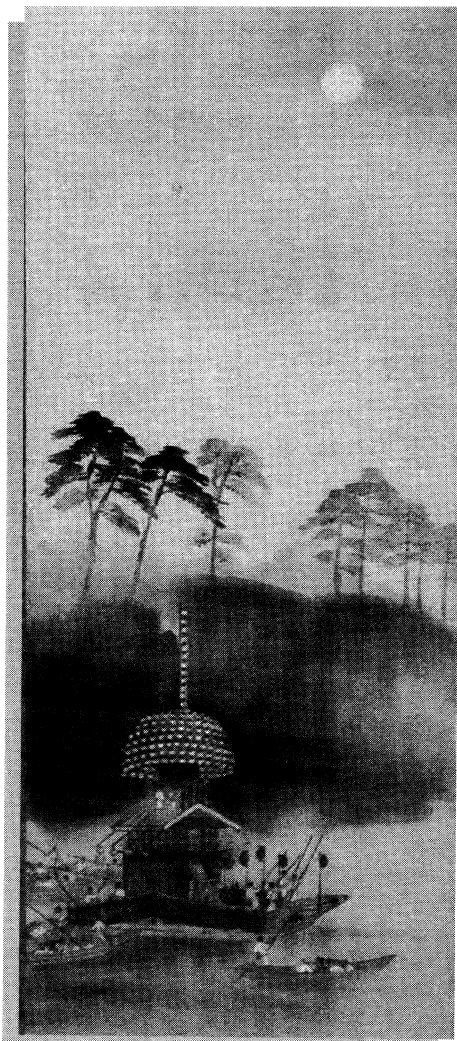
蟹江町歴史民俗資料館

# 目次

I	歴史民俗資料館概要	1
1	沿革	1
2	施設概要	1
II	歴史民俗資料館事業	2
1	展示	2
	(1) 常設展示	2
	(2) 特別展示	3
	(3) 企画展示	4
2	教育普及	6
3	資料の収集・保管	12
	(1) 収集資料の特色	12
	(2) 収蔵資料の状況	12
4	調査・研究	14
5	情報提供	14
6	利用状況	14
III	文化財保護事業	16
1	文化財保護審議会	16
2	文化財保護等事業費保護事業	16
3	文化財公開事業	17
4	文化財普及・啓発事業	18
IV	資料編	19

蟹江町歴史民俗資料館特別展

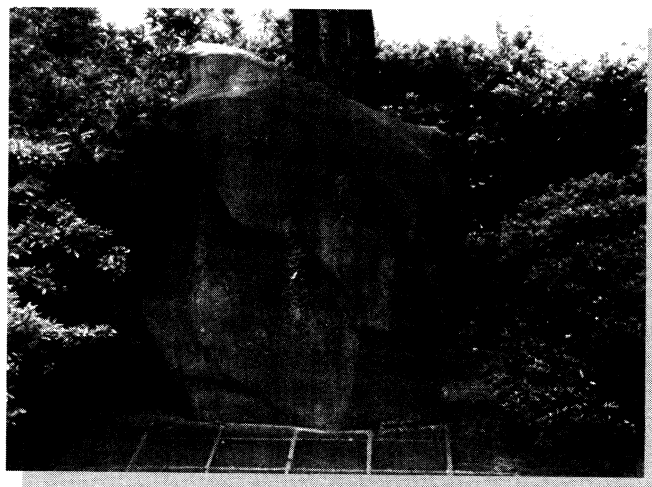
# 描かれ、語られ、うたわれた蟹江



絹本著色須成祭宵祭図(後藤家蔵)



蟹江川(尾張名所図会より)



山口誓子句碑(鹿島神社文学苑内)

平成26年11月1日(土)～11月30日(日)

月曜休館 午前9時～午後5時 入場無料

場 所 蟹江町歴史民俗資料館 1階 企画展示室

(蟹江町城一丁目 214 番地 産業文化会館内)

TEL/FAX 0567-95-3812

主 催 蟹江町教育委員会

## 開催にあたって

蟹江町歴史民俗資料館では、今まで何度かにわたって蟹江町にゆかりのある人物をとりあげ、特別展を開催してきました。その作品の中には蟹江町を題材としたものも数多くありました。それらの作品のなかで、作者たちは、蟹江のまちのどんな部分に注目してとりあげ、どのように描いたのでしょうか。また、蟹江周辺のまちの歴史やまちの名物を記録した書物などには、何がどう語られているのでしょうか。

今回の特別展では、そうした作品や記録をとりあげることと、いにしへの蟹江の姿を垣間見るとともに、蟹江の歴史や文化とはどんなところにあるのか知るきっかけにできればと存じます。

なお、展示を開催するにあたって、ご協力いただいた皆様に、この場を借りまして御礼申し上げますとともに、深く感謝申し上げます。

平成26年11月吉日

蟹江町歴史民俗資料館

# 蟹江城・蟹江合戦

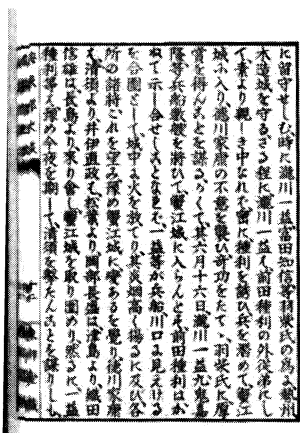
蟹江の歴史でまず語られるのが、蟹江城と蟹江合戦。蟹江城は、伝承によれば、永享年間(1429～41)に北条時任が築いたとされており、伊勢湾へ臨む要衝地とされ、軍事上の重要な拠点としてこの城をめぐる戦いが何度も行われました。天正12年(1584)6月の戦いは特に激しく大きな戦いで、「蟹江合戦」として伝えられています。この戦いは長久手の戦いで徳川家康に敗れた秀吉の雪辱戦と位置づけられています。秀吉は蟹江城主佐久間正勝の留守を預かっていた前田長定を内応させ、滝川一益を主将に九鬼水軍をとめない入城、しかし、大野城主の山口重政、城内では鈴木重安・重治兄弟らの抵抗にあい、徳川・織田連合軍に反撃され、結局は敗退しました。蟹江城はその翌年大地震により崩壊、廃城となりましたが、時代を超えて語り継がれています。



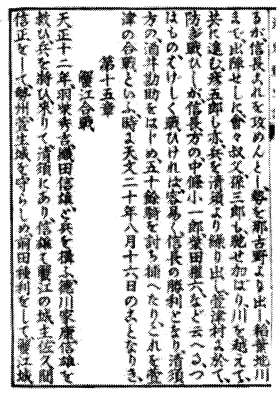
「蟹江合戦之図」  
蟹江城絵巻(年代不明、武田茂敬寄託資料)より



「蟹江古城」  
『名区小景 二』嘉永元年(1848)より



『海東郡史談』明治26年(1893)



『新書太閤記』吉川英治著 昭和中期



平成二六年度古文書を読む会（講師 藤井智鶴氏）

テキスト「鳥ヶ地前新田由緒書」（鈴木家文書）・翻刻文

鳥ヶ地前新田は現在の弥富市鳥ヶ地の南の枡場地区にあたり、戦国時代より蟹江本町村（現・蟹江町城）に居宅を構えた鈴木家が開発した新田である。この文書は、五代目鈴木四郎左衛門が延宝六年（一六七八）に開発を手がけた時のことを七代目四郎左衛門が宝暦四年（一七五四）に由緒書として残したものである。

鳥ヶ地前新田由緒書

鳥ヶ地前新田扣申由緒之覚

一 延宝六年午之年鳥ヶ地前御新田御取立之

時分、祖父四郎左衛門儀御普請御奉行衆御兩人様

御呼被遊、從御公儀諸事本田之通ニ御取立

壹町ニ付敷金何程指上可申哉と御尋被成候故

積仕指上申候、御兩人様被仰候ハ比積ニ而被

仰付候ハ御請可申哉と被仰候故、慥ニ御請可申候、